

道徳授業地区公開講座

1 年 1 組

* 本日の授業の流れ *

主題名	ともだちと いっしょ (資料名：なかよし・なかなおり) [日本文教出版「しょうがくどうとく いきるちから」より] B 友情、信頼
ねらい	友達と一緒にいる喜び、共に過ごす喜びに気づき、友達と仲よくし、助け合おうとする態度を育てる。

	○学習活動、 <u>主な発問</u>	◇指導上の留意点
導入	○「友達と、普段どのようなことをしているのか」について考える。 今日は「友達といてうれしい時や楽しい時」はどんな時かを考えて、発表しましょう。	◇友達と一緒に、どのようなことをしているかを想起できるようにする。
展開	○教材「なかよし」の挿絵を見て、話し合う。 友達と一緒にいて、どんな気持ちでしょうか。 ① 友達と初めて話した時 ② 転んで友達が助けてくれた時 ③ みんなで一緒に歌った時 ④ 友達と下校した時 ○教材「なかなおり」の挿絵を見て、話し合う。 友達とけんかした時、どんな気持ちになりますか。 どうして、仲直りしたくなるのでしょうか。 どうやって、仲直りをするといいのでしょうか。 ○自分の生活を見つめる。 あなたが、「友達といてうれしい時や楽しい時」はどんな時でしょうか。	◇挿絵を掲示し、自分と友達の気持ちが分かるように板書する。 ◇①～④のいずれも、友達といる時のうれしさや心強さがあることをおさえる。 ◇普段の生活から豊かに想起させる。 ◇仲がよい時だけでなく、意見の相違からけんかになる時があることを想起できるようにする。 ◇仲直りしたいという思いを取り上げ、どうすると解決できるのかを学級全体で考えることができるようにする。 ◎自分の経験を振り返り、友達の大切さに気付いた出来事を思い出して、道徳ノートに記入する。
終末	○今日の道徳で気が付いたことや分かったことを発表する。	◇友達と一緒にいる喜びや共に過ごす喜びに気づき、これからも仲良く助け合おうとする意欲を高める。

* 道徳授業のことをご家庭で *

けんかした時の気持ちや、どうやって仲直りをするのかも取り上げました。穏やかな口調で自分の気持ちを伝えることは時に難しいこともありますが、学校でもご家庭でも、お子さんとの会話を大切にして、自分の気持ちを伝える力や相手の話に耳を傾けて受けとめる力を育てていきたいですね。